

2025 年 1 月 28 日

報道機関 各位

「被爆した長崎医科大へ 神戸から」

(児童文学者 鳥居真知子さん著)

出版記者会見

作家の鳥居真知子さん（兵庫県在住）が、被爆前後の長崎、長崎医科大学を舞台にした小説「被爆した長崎医科大へ 神戸から」を執筆され、3月1日に発行されます。主人公は神戸から同医科大学に進学した青年で、被爆後の救護活動の様子などが物語の中で描かれています。長崎医科大学の医師だった永井隆さんや調来助さんも実名で登場します。本書の執筆にあたっては、核兵器廃絶長崎連絡協議会の調漸会長、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の山口響客員研究員、ナガサキ・ユース代表団 11・12 期生の平林千奈満さんら RECNA 関係者が情報提供や背景説明などでお手伝いいたしました。

つきましては、この作品についてブリーフィングを下記の通り開催いたします。ぜひ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

■日 時： 2025 年 2 月 4 日（火）11：00 より（1 時間程度）

■場 所： 長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）1 階会議室

■出席者： 鳥居真知子

調 漸

平林千奈満

吉田 文彦

作家

核兵器廃絶長崎連絡協議会会長

ナガサキ・ユース代表団第 11・12 期生

RECNA センター長、教授

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター

TEL: 095-819-2164 Email : recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp